

E.coli由来のペーラクタマーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1886

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ペーラクタマーゼは、いくつかの細菌によって生成される酵素の一種（EC 3.5.2.6）で、ペニシリン、セファロスポリン、セファマイシン、カルバペネムなどのペーラクタム抗生物質に耐性の原因となります。これらの抗生物質は、分子構造に共通の要素を持っています。それは、ペーラクタムとして知られる4原子の環です。ラクタマーゼ酵素はその環を開き、分子の抗菌特性を無効にします。

別名 b-ラクタマーゼ; EC 3.5.2.6; TEM前体; β -ラクタマーゼ

製品情報

種	E. coli
由来	E. coli
形態	20mMリン酸緩衝液pH-7を含む水中の濃縮（1mg/ml）溶液から凍結乾燥されました。
EC番号	EC 3.5.2.6
分子量	29 kDa
純度	90.0%以上は以下によって決定されます： (a) RP-HPLCによる分析。 (b) SDS-PAGEによる分析。
活性	700IU/mg
溶解度	凍結乾燥されたペーラクタマーゼは、無菌の18M Ω -cm H ₂ Oで100 μ g/mlの濃度に再構成することが推奨され、その後、他の水溶液にさらに希釈することができます。ペーラクタマーゼは、pH 7.0-8.0で、温度は45 Ω Cを超えない範囲で使用する必要があります。
単位定義	1ユニットは、pH 7.0、25 Ω Cで、指定された基質を1.0 μ mole/minで加水分解します。国際単位（ベンジルペニシリンを基質として使用）は、約600レヴィ単位または75ポロック単位に相当します。

保管・発送情報

安定性 凍結乾燥されたペーラクタマーゼは、室温で3週間安定していますが、-18 Ω C以下で乾燥した状態で保存する必要があります。再構成後のペーラクタマーゼリコンビナントは、4 Ω Cで2 Ω 7日間保存し、将来の使用のためには-18 Ω C以下で保存してください。長期保存のためには、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を追加することをお勧めします。凍結-解凍サイクルを避けてください。